

◇平成7年度重点普及課題の評価◇

モズク養殖実態調査による計画生産の推進

瀬底正武

1. 課題名

モズク養殖実態調査による計画生産の推進

2. 実績と評価

計画生産による流通の円滑化を推進し、モズク養殖漁業の健全なる発展を図るため同実態調査を実施する。

平成7年度は、別紙調査表により、生産漁協における本モズク、糸モズク以下『モズクと言う』の水揚調査及び現場における養殖状況等実態調査を行なう。

さらに、生産者においては、計画生産に向けたアンケート調査を実施し、生産現場との意見交換の資料として、役立てたい。すでに、一部地域で

は、調査がスタートしており、平成8年5月末までには同調査を終えたい。

これまで、調査に入った漁協からは、時期を得た調査であり積極的に協力したいとする声が届いており、調査する側としても意を良くしている所である。

3. 次年度への展開

*平成7年度の調査結果をもとに、各地区生産部会毎に意見交換会を開催する。

*徹底した、営漁簿・養殖日誌等記帳指導を実施する。

*生産技術（主に、漁場・種保存）等のレベルアップを図り、経営感覚を養う。

(重点課題実施計画)

モズク養殖実態調査による計画生産の推進

① モズク養殖実態調査

1) 平成7年度養殖モズク(本)水揚調査表

実施機関：沖縄県水産業改良普及所

漁協名	出荷方法		生産量計 (A) + (B)	(A)		(B)		生産金額計 (A) + (B)		単価 (kg)	
	出連出荷(A)	漁連外出荷(B)		金額	金額	金額	金額	(A)	(B)	(A)	(B)

2) 平成7年度養殖系モズクの水揚調査表

漁協名	出荷方法		生産量計 (A) + (B)	(A)		(B)		生産金額計 (A) + (B)		単価 (kg)	
	出連出荷(A)	漁連外出荷(B)		金額	金額	金額	金額	(A)	(B)	(A)	(B)

3) 平成7年度モズク養殖状況実態調査表

漁協名	養殖網延べ (種網延べ 枚数)	養殖従事者数	経営体数 (個人及びグループ で1経営体)	養殖面積 (実数 m ²)	平成8年度養殖計画 (計画網数)	意見・要望等

② モズク養殖・計画生産に向けたアンケート調査
(実施機関：沖縄県水産業改良普及所)

1) 調査の目的

モズクは、養殖技術の向上により、安定的に供給できるようになったが流通面において、県内既存業者とのからみがあって、現在まで系統共販体制がかならずしも、スムーズにいらっているとは思われない。そういった観点から、これまでのモズクの養殖の実態を調査し、計画生産による流通の円滑化を推進し、モズク養殖漁業の健全なる発展を図る目的で同調査を実施する。

2) 調査方法

生産地区の漁協、生産部会の代表等により直接、聞き取り調査を実施する。調査終了後は、各地区の生産部会毎に検討会等意見交換会を開催する。

3) では、次のアンケートにお答え下さい。(よろしく、ご協力お願い致します。)

(1) 種保存技術について、該当するものに○印を付けて下さい。

ア. 種保存技術は、本モズク・糸モズクとも十分マスターしている。

イ. 十分とは言えないが、何とか続けている。

ウ. 種保存は、面倒なので実施していない。

(2) 種保存技術は、今後必要だと思いますか。○印を付けて下さい。

ア. 必要だと思う。

イ. 必要ではない。

ウ. どちらとも言えない。

(3) 採苗、中間育成(育苗)、本張りと一連の養殖技術は確立されたと思いますか。該当するものに○印を付けて下さい。

ア. 確立されたと思う。

イ. 十分ではないが、一連の養殖技術として、普及された。

ウ. 不安定であり、確立されたとは思わない。

(4) 問(3)との関連で、一連の養殖技術は、各地区の漁場条件に合ったものであると思いますか。該当するものに○印を付けて下さい。

ア. 十分に対応出来る技術である。

イ. 漁場に合わせた技術開発が必要である。

ウ. 漁場条件に合っているかどうか、良く分からない。

エ. 漁場との関係はない。

(5) 等級・検査制度は必要ですか。

ア. 必要である。

イ. 必要でない。

ウ. 分からない。

(6) 品質管理について、該当するものに○印を付けて下さい。

ア. 品質管理は、厳しすぎるほど徹底されている。

イ. それほど、厳しくはないが、日頃から品質管理には心がけている。

ウ. 品質管理については、深刻に考えたことはない。

エ. 品質管理は必要ない。

(6) ー1. ウ、エに○印をつけられた方のみ、お尋ねします。(何故、品質管理は必要ないと思いますか。)

ア. 品質管理は、漁協、加工業者が考えればよい。

イ. 漁家は、生産活動に専念すればよい。

ウ. 品質が少々悪くても売ればよい。

(7) 流通・加工について、該当するものに○印を付けて下さい。

ア. 安定生産を目指すには、生産調整は不可欠である。

イ. 漁連を窓口として、一元集荷を図る必要がある。

ウ. 漁連を通さず、各漁協で販売能力に応じた生産を考えるべきである。

エ. 生産調整は必要ない、各漁協が販売努力をすればよい。

オ. 加工製品の均一化を図るためには、共同加工場の設置が必要である。

カ. 消費拡大のための県内外へのPRは必要である。

キ. 経営の安定を図るためにも、共済制度の

創設が必要である。

(7) -1. アに○印をつけられた方のみ、お尋ね
します。(モズクを基幹産業として、位置づ
けるためにも、今後、生産調整は可能だと思
いますか。)

- ア. 可能である、徹底してやるべきである。
- イ. 不可能である、今後も困難であろう。
- ウ. 分からない、どちらとも言えない。

(7) -2. ウ、エに○を付けられた方のみ、お尋
ねします。(何故、生産調整は難しい、必要な
いと思いますか。)

- ア. 漁協間の連携がないので、今後も無理で
ある。
- イ. 調整役である漁連に、ビジョンや指導力

がない。

ウ. 漁連と浜業者と対立している状態では困
難である。

- エ. 生産調整しなくても、得意先の業者が買
取ってくれるので心配はない。
- オ. 県の指導力が弱い。

(8) モズクの原因単価 (kg当たり) について、
適当な単価と思われるものに○印を付けて下
さい。

- ア. 本モズクは ; 50円~100円・100円~150円
150円~200円・200円以上
- イ 糸モズクは ;
100円~150円・150円~200円・
200円~250円・300円以上

平成7年度モズク養殖実態調査（総括表）

表一1 平成7年度養殖モズク（本）の水揚調査表

市町村別 漁協別	出荷		方法		生産量計 (A) + (B)	(A) 金額	(B) 金額	金額計 (A) + (B)	単価 (kg)	
	生産量 (kg)	漁連出荷 (A)	漁連外出荷 (B)	生産量 (kg)					(A)	(B)
本伊部										
伊平屋										
伊江護										
名納村										
恩武座										
金野連										
宜勝										
与那城町										
市知念										
村糸久										
満島										
市平良										
山八重										
合計										

平成7年度 モズク養殖実態調査 (総括表)

表-2 平成7年度養殖系モズクの水揚調査表

市町村別 漁協別	出荷方法		生産量計 (A) + (B)	(A)		金額計 (A) + (B)	単価 (kg)	
	漁連出荷(A)	漁連外出荷(B)		金額	金額		(A)	(B)
本伊伊伊名恩金宜勝与那城町 沖繩市知糸久平八 合								
部名屋江護村武座連 伊平伊伊名恩金宜勝与那城町 沖繩市知糸久平八 合								

平成7年度モズク養殖実態調査（総括表）

表一3 平成7年度モズクの養殖状況実態調査表

漁協別	養殖網数 (種網延べ枚数)	養殖従事者数	経営体数 (個人及びグループで1経営)	養殖面積 (実数)	平成8年度養殖 計画 (計画網数)	意見、要望等
本部						
伊是名						
伊平屋						
伊江						
名護						
恩納						
金武						
宜野座						
勝連						
与那城町						
沖繩市						
知念村						
糸満						
久米島						
平良市						
八重山						
合計						